

市民と力をあわせ

くらし・
文化・
景観を守る

日本共産党 京都市会議員団

違法

野放しになっている

「民泊」対策に全力を

違法「民泊」を厳しくとりしまれ

東山区では「民泊」とよばれる宿泊施設が激増し、住民の苦情が相次いでいます。その多くは、「旅館業法」による許可を得ていない違法な「民泊」です。しかし、京都市は「民泊」の指導体制が不十分なまま担当課を1カ所に集約し、違法「民泊」は事実上、野放しとなっています。

日本共産党議員団は、市議会の論戦でも「野放しになっている違法「民泊」対策に全力をあげ、旅館などへの支援を強めるべきだ」と主張し、京都市に対応の強化を求めています。



市民による「民泊」ウォッチング



↑日本共産党議員団が作成した「民泊」対応ハンドブック

マンションの管理規約で「民泊」を禁止し、2ヵ月で解決

東山区のある分譲マンションでは、昨年8月ごろ、外国人観光客らが宿泊するところを住民が発見。すぐに管理組合理事会が仲介不動産業者と所有者に抗議しました。所有者は「取引先の家族を泊めているだけ」と「民泊」を認めませんでした。管理組合理事会は臨時総会を開催し、規約改正に必要な4分の3をこえる賛成で、「民泊」禁止を明文化しました。東山区役所衛生課にも通報し、指導を依頼しました。10月には家族が入居し解決しました。

元清水小学校跡地にホテル 東山全域で高級ホテルラッシュが

廃校になった清水小学校跡地の活用を京都市が募集した結果、最終的にNTT都市開発が契約を獲得しました。

昨年11月には、京都女子大の近くに「フォーシーズンズホテル京都」が開業。123の客室と分譲型のレジデンス57室をもつ超高級ホテルです。今年2月には、三井不動産が建仁寺南側に157室の「ホテル・ザ・セレスティン京都祇園」を9月に開業

すると発表。まさに、高級ホテルラッシュです。

市民が大切に守ってきた歴史や文化・環境を、一部の大企業や富裕層のものにさせてはなりません。

←市民によるウォッチング



「歩道勾配や バス待ち環境の改善」

東大路上に
1億3000万円の予算

車線減少も含めた道路空間の再構成等を検討してきた「東大路歩行空間創出事業」。交通への影響が大きいことから、当面、2車線化は先送りとなりました。

日本共産党議員団は、「危ない歩道の改善やバス待ち環境の改善をこそ急ぐべき」と繰り返し求めてきましたが、2017年度の京都市予算に「歩道勾配やバス待ち環境の改善」の予算が1億

3000万円つきました。今年度、設計と工事等が順次、行われていく予定です。

←乗降客であふれる東大路通のバス停



どんなお困りごともお寄せください

東山区生活相談所 TEL 551-2244 FAX 551-9216